

した外観の 公営納骨施設は 県内初！



【完成イメージ】

納骨堂（合葬墓）基本構想が固まりました
これからのお墓のかたち
合葬式による永年収蔵

お墓をどうする

近年、少子高齢化や核家族化の進行に伴い、単身者や身寄りのない方などが増加し、お墓を建ててもそのお墓の承継者がいないといった問題が生まれています。

また承継者がいたとしても、仕事の都合などで住所移転や海外滞在などにより、お墓の管理ができないといったことも多く耳にします。

このように生活様式や社会環境が大きく変化した現代では、多くの方が「お墓をどうするか」といった悩みを抱えています。

磐田にも納骨堂を

磐田市も例外ではなく、市民から

「墓地の承継者がいない」
「子や孫に負担を掛けたくない」
「できるだけ安価な墓地を求めたい」という意見が多く聞かれます。

平成24年度市政モニター調査では、市営霊園に永年収蔵施設（納骨堂）が必要との回答が72.5%という結果でした。

また「納骨堂があるか」「納骨堂があれば入れたい、入りたい」といった相談や問い合わせが、月に数件寄せられています。

◎環境課 ☎ 0538-3712702

FAX 0538-3715565

コンセプトは 土に還る

- 古墳をイメージした外観で周囲に自然石を配置します
- 上部を芝生で覆います
- 付属設備として献花台などを設置します
- 半地下の内部に納骨設備（カロート）を設置します

概要

形式／合葬式による永年収蔵

規模／直径 12.3m、高さ 2.15m の円形

収蔵数／3,000 体

▶平成 31 年度の供用開始を目指し、整備を進めます

建設場所



磐田市駒場霊園
駒場 4916-10 外

駒場霊園内の
合葬墓建設予定地



古墳をイメージ



納骨堂（合葬墓）の早期整備を
目指して

このように、従来型の墓地に代わる納骨堂への市民ニーズが高まってきていることから、これに因應するため、納骨堂の早期整備を目指し、基本構想を固めました。

基本構想では、納骨施設のコンセプトを「土に還る」とし、古墳をイメージした外観で、納骨方法は合葬式による永年収蔵する形式（合葬墓）としました。

納骨堂 とは

納骨堂とは遺骨を収蔵する屋内施設です。一般的なメリットは次のとおりです。

- 承継者を必要としない
- 掃除や草取りなど管理の必要がない
- お墓を建立する場合に比べ比較的安価